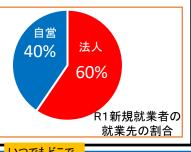
地域水産業担い手確保事業

目的

デジタルオンライン技術を活用した漁師育成機関を構築、運営し、既存の漁師塾を補完することで、都市部の若者等を三重県の 漁業に呼び込み円滑な着業・定着を支援するとともに、今後、漁業の法人化等に率先して取り組む若手・中堅漁業者の育成を進め ます。

現状と必要性

- ・今後10年間で漁村の高齢化が進むとともに団塊の世代が漁業から退いていくことで、担い手不足が深刻化
- コロナ禍後の新しい生活様式が定着するなかで、デジタルオンライン技術を活用した学習が急速に一般化 都市の若者等を三重の漁業にさらに呼び込むためには、デジタルオンライン技術の活用が有効
- ・地域水産業を維持・継続してくためには、新規漁業就業者の受け皿となる法人化等に取り組み、地域に波及
- させられる漁業者を育成することが必要



オンライン漁師育成機関(みえ漁師Seeds)構築・運営

事業内容

関係機関等と連携し、オンライン漁師育成機関の構築、運営を実施

- ①漁業への就業を考えている都市の若者等が時間・場所にとらわれ ず閲覧できる県内漁業紹介動画やオンライン座学コンテンツの作成
- ②若手、中堅漁業者を対象とした、経営力の向上や漁業の法人化等 に関するオンライン座学コンテンツの作成

<既存の漁師塾との関係>

時間や場所にとらわれないオンライン漁師育成機関で、都 市部の若者等が十分に知識を習得した後に、既存の漁師塾で 技術を習得することで、即戦力人材の育成が可能となり、三 重県の漁業への円滑な着業・定着が促進されます。

※既存の漁師塾は、漁業現場における技術指導に特化した形で 引き続き実施

県外の転職希望者 【新たに呼び込めるターゲット】

- ・漠然と漁業への就業をイメー
- ジしている人
- ・時間に余裕がない人
- ・現場から距離のある人
- ・SNSやLINEなどによるコミュ

ニケーションに慣れ親しんだ

世代

【従来の漁師塾 ターゲット】 漁業就業への 志望を固めた少

数の人

<これまでの流れ>

限られた情報をもとに、直接現場の漁師塾へ参加

コース

講座の実施

・法人化や経営力向上など

に関するオンライン座学

漁師育成機関 (漁師Seeds) ①新規漁業者養成コース 漁師塾 ・三重の漁業のPVの配信 ・漁師塾前に学習できるオ (現地での ンライン座学講座の実施 漁業体験) LINEなどで漁師と実際 にコミュケーション ②若手·中堅漁業者育成

新規就業者の受け皿 (法人)

漁業

事業の効果

- ●都市部の若者等が気軽に受講できるオンライン漁師育成機関を構築し、運営することで、担い手確保の間口が広がるとともに、事前に十分な知 識を得たうえで漁師塾などに挑むことが可能となるためより多くの新規漁業就業者の着業につながります。
- ●若手・中堅漁業者を対象としたオンライン座学講座を実施することにより、新規漁業就業者の受け皿となる法人経営体の増加につながります。